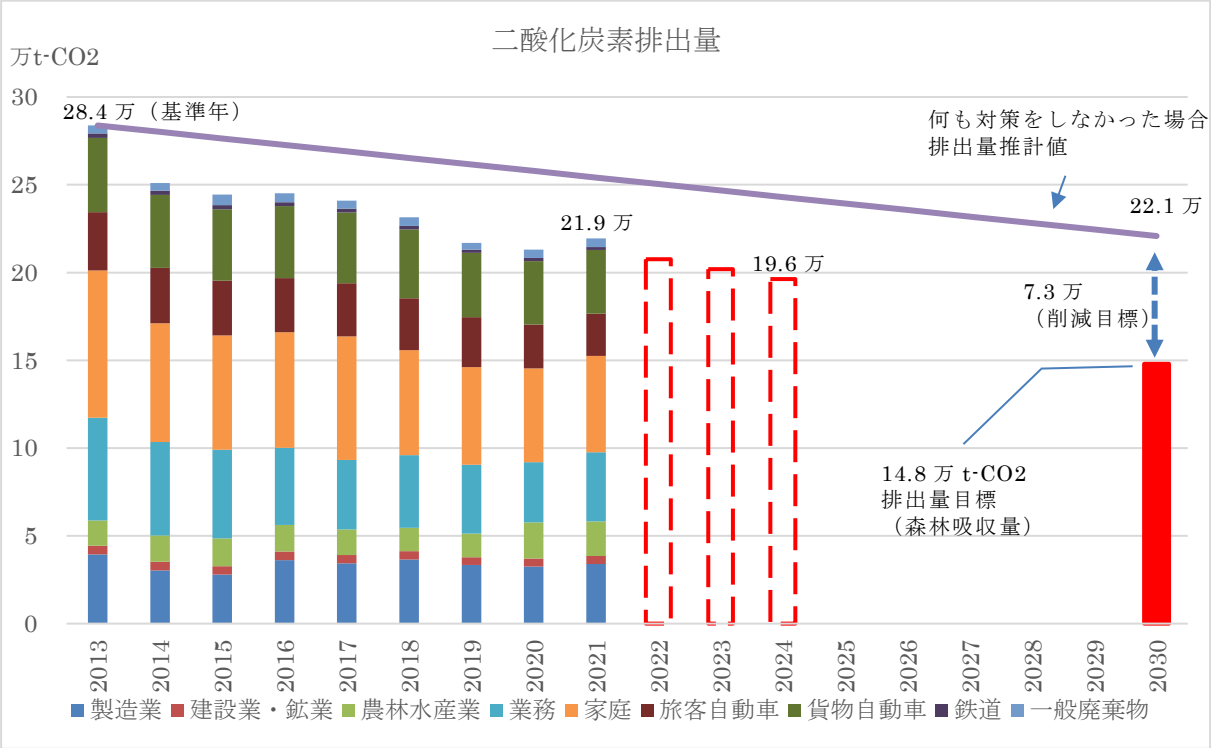
資料１

鹿角市地球温暖化対策実行計画の進捗について

1　二酸化炭素排出量の目標及び進捗状況

目標：2030 年の二酸化炭素排出量 14.8 万 t-CO2（必要削減量 7.3 万 t-CO2）

2021 年度の二酸化炭素排出量は 21.9 万 t-CO2 で前年度から 0.6 万 t-CO2 増加となった。これは全国的な傾向であり、国は新型コロナによる経済活動の低下から回復したためと分析している。



※2022～2024 の点線棒グラフは、2014～2021 年度の排出量から予測した削減量。

2013（基準年）	2021（最新値）	2030（目標）
28.4 万 t-CO2	21.9 万 t-CO2	14.8 万 t-CO2

2　令和 6 年度上半期の取組状況

対策 1　再エネ電気メニューへの切替

内容：かづのパワーが再エネ電源を確保しながら地域の再エネを供給し、電気由来の CO2 を削減します。

削減目標：4.62 万 t-CO2、対策目標：市内電力需要の 50%、約 8,700 万 kWh の切替

〈実施状況〉

①かづのパワーの電源確保

かづのパワーの地産電源の確保に連携して取り組み、需要家への供給を拡大した。

REPO（再生可能エネルギー推進機構）の太陽光発電 1,000kW（福島県浜通り）の調達、供給を 8 月から開始した。

秋田県が小和瀬発電所（県営水力 8,800kW）の売電先の公募を実施、かづのパワーが売電先として選定された。令和 6 年 11 月から調達、供給を開始予定。

②再エネ電気メニューへの切替促進

令和 6 年度 9 月 30 日時点での契約電力は 9,438kW であり、2024 年度の契約電力目標 9,000kW を達成した。

	R6.3.31 時点	R6.9.30 時点
契約電力	4,557kW	9,438kW
契約数	63 件	158 件
内訳	公共 57、民間 6	公共 70、民間 88

③地域向け電源の導入促進（再エネ推進交付金事業）

市の遊休地で太陽光発電を実施する事業者を公募し、新たに 3 件、147kW の事業者を決定した。令和 5 年度に採択した 2 件、98kW について近々、発電を開始する予定である。

年度	件数	出力	場所
R5	2 件	98kW	旧扇平分校跡地、旧大湯スキー場跡地
R6	3 件	147kW	旧曙地区市民プール跡地、旧大里松館市民プール跡地、旧花軒田分校跡地

対策 2　自家消費型再エネ電源の導入

内容：自家消費型の太陽光、木質バイオマスコジェネを導入し、電気由来の CO2 を削減します。

削減目標：0.63 万 t-CO2、対象目標：太陽光 10,000kW、木質バイオマス 320kW

〈実施状況〉

①再エネ設備の導入支援（再エネ推進交付金事業）

個人・企業の自家消費型太陽光・蓄電池の導入に係る初期費用について補助を実施する。令和 6 年 9 月 30 日時点で個人 8 件、企業 1 件の交付決定をした。

	R5	R6
個人	6 件(47.7kW)	8 件(62kW)
企業	0 件	1 件(5kW)

対策 3　ＥＶへの切替

内容：EV に必要なインフラを整えることで、EV への切り替えを進め、動力由来の CO2 を削減します。

削減目標：1.19 万 t-CO2、対策目標：市内車両の 20%、旅客 3,700 台、貨物 1,300 台

〈実施状況〉

①EV 販売台数調査

令和 5 年度中に市内で販売された EV 台数を調査したところ､25 台という結果だった。

R4 年度以前	R5 年度	合計
120 台	25 台	145 台

②コムスを活用したＥＶ体験会の開催

一人乗りの電気自動車コムスを活用し、10 月 14 日（月）にＥＶ試乗会をあんとらあにて開催。同時にニーズ調査等アンケートの実施。

対策 4　省エネ設備への更新

内容：省エネ機器への更新を進め、電気・熱由来の CO2 を削減します。

削減目標：0.2 万 t-CO2、対策目標：市内電力需要の 2%、約 370 万 kWh/年

〈実施状況〉

①省エネ診断の推進

今年度から省エネ補助金について、省エネ診断を要件化した(交付決定 15 件)。また、市役所本庁舎の省エネ診断を今年度中に実施予定である。

②省エネ設備更新の支援

(1)省エネ設備等更新支援補助金

事業所の省エネ設備の更新について、令和 5 年度に引き続き支援を実施した。

（令和６年９月 30 日時点）

件数	CO2 削減量 (t-CO2)	総事業費 (円)	交付決定（予定）額 (円)
15	82.6	27,954,343	10,000,000

更新機器	件数	エネルギー削減量	CO2 削減量 () 内は平均	総事業費 ()内は平均
空調等	9	電気　40,168 kWh LP ガス　1.53　㎥ 灯油・重油　314.6　k L	53.7 t-CO2 （6.0 t-CO2）	19,180,470 円 （1,239,093 円）
照明	4	14,429 kWh	7.6 t-CO2 （1.9 t-CO2）	4,956,373 円 （1,239,093 円）
その他（溶接機・ボイラー等）	2	電気　31,062 kWh 灯油・重油　2.41　k L	21.32 t-CO2 （10.7 t-CO2）	3,817,500 円 （1,908,750 円）
総計	15	電気　85,658 kWh LP ガス　1.53　㎥ 灯油・灯油　317.0　kL	82.6 t-CO2 （5.6 t-CO2）	27,954,343 円 （1,863,623 円）

・(2)省エネ家電購入支援補助金

国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、市民の省エネ家電の購入について支援した。

交付決定実績（令和 6 年 9 月 30 日時点）

更新機器	件数	二酸化炭素削減量 (t-CO2)
エアコン	72	57.7
冷蔵庫	99	14.5
両方	19	16.4
計	190	88.6

③公共施設の省エネ設備への更新

花輪さくら保育園の LED 化：令和 6 年 9 月に工事完了

対策 5　建物の熱対策

内容：断熱改修や ZEH、薪ストーブ、木質バイオマス熱利用機器の導入を進め、電気・熱由来の CO2 を削減します。

削減目標：0.66 万 t-CO2、対策目標：66 件/年の断熱改修、ZEH、薪ストーブ導入
木質バイオマス熱利用 3 件

〈実施状況〉

①木質バイオマス熱利用の導入支援（再エネ推進交付金事業）

家庭向けの薪・ペレットストーブの初期費用に対し補助する制度を創設した。令和 6 年 9 月末現在で 2 件を交付決定。

②住宅の断熱改修支援

耐震改修や住環境向上に対して補助をする「安全安心住まいづくり事業」の「脱炭素促進事業」で 20 件の断熱改修工事の申請があった（R6.9.30 時点）。

対策 6　適切な森林管理

内容：森林経営管理計画を進め、間伐や伐採・再造林など適切な森林管理を継続し、森林吸収量を維持します。

削減目標：吸収量 14.8 万 t-CO2 を維持

対策目標：森林経営管理計画のカバー率 100%

削減推計値:統計値未公表(近年の森林蓄材量から計算される推定吸収量は 16.5 万 t-CO2)

〈実施状況〉

①森林経営管理推進事業

管理計画に基づく森林管理業務を実施中である（管理面積 637.44ha)。

②再造林の推進

再造林等について補助を実施する。

③間伐の推進

搬出間伐について補助を実施、2 件（48.21ha）を交付決定済み。

④林業人材の育成

林業大学生への家賃補助、新規就業雇用事業への補助制度を実施する。

対策 7　その他脱炭素行動の促進

内容：節電、クールビズ、節水、公共交通の利用、ごみの削減、低炭素商品の選択など、CO2 削減行動に努めます。

削減目標：なし、対策目標なし。

〈実施状況〉

①「CO2 排出量の見える化」の推進

市役所及びコモッセに、施設の電力使用量や CO2 排出量を表示するモニターを設置した。

②ゼロカーボン協力事業者・市民の募集

(1)脱炭素行動事業者認定制度

脱炭素行動に取り組む事業者の申請を受け、市が公表する「脱炭素行動事業者認定制度」について、5 社を新たに認定、認定事業者は 18 者となった。

(2)ゼロカーボンサポーター制度の創設

ゼロカーボンサポーター制度を創設した。サポーターには「サポーター証」を配布し、できる範囲での脱炭素行動への協力を求め市民の行動変容を促した。サポーター数は令和 9 月 20 日時点で 190 名。

③FM 公告による情報発信

きりたんぽ FM にて、鹿角市の脱炭素情報の発信を行う。10 月 15 日から放送開始。

④再エネ設備見学会の実施

太陽光パネルや蓄電池などを導入した家庭への見学会の開催によって、再エネ設備導入メリットの周知を実施する。

⑤太陽光発電設備導入検討ツールの提供

NEDO の日照量や屋根の斜度などから簡便に事業性をシミュレーションできる「太陽光発電設備導入検討ツール」を市ホームページで公開した。

⑥エネルギー新産業育成プロジェクト（再エネ水素の利活用）

秋田県が「洋上風力発電を契機とした秋田の未来づくり会議」を設置。大手事業者との連携テーマを募集しており、水素利活用モデルや、関連産業にはどのような技術・ノウハウが求められるのか情報提供してほしい旨依頼している。今後、水素利活用あるいは関連産業への地元業者の参入機会について模索を進めていく。

（参考：洋上風力発電を契機とした秋田未来づくり会議メンバー企業）

三菱商事、丸紅、伊藤忠商事、ENEOS リニューアブル・エナジー

令和５年度の措置及び施策の実施状況について

項目	取組内容	CO2 削減目標 万 t-CO2	CO2 削減量 万 t-CO2
対策１ 再エネ電気メニューへの切替	大沼地熱発電所、ユーラス田代平ウインドファーム電力調達開始 かづのパワーへの切替　　供給実績 9,754,730kWh 市遊休地における太陽光発電事業者公募　　実績：2 件採択	4.62	0.5150
対策２ 自家消費型再エネ電源の導入	公共施設 52 か所について太陽光発電設備の導入可能性調査を実施 個人・企業向け太陽光発電・蓄電池導入支援　　実績：個人 6 件	0.63	0.0026
対策３ ＥＶへの切替	電気自動車体験会の開催（7/23 道の駅あんとらあ）　　試乗人数：41 人 コムス貸出実証事業開始　　貸出実績：0 件 EV に関する市民・事業者・販売店へのアンケート実施 EV セミナー・パネルディスカッションの開催（2/22 コモッセ） 市内で販売された EV 台数　25 台	1.19	0.0041
対策４ 省エネ設備への更新	省エネ診断の実施（花輪小学校、まちなかオフィス、交流プラザ） 企業向け省エネ設備の更新支援　　実績：28 件 公共施設の LED 化　工事完了　十和田市民センター、交流センター 実施設計　花輪さくら保育園	0.20	0.0106
対策５ 建物の熱対策	家庭向け薪ストーブ導入支援　　実績：4 件 水素製造・利活用方法の検討 「安全安心住まいづくり事業」における断熱改修工事支援　　実績：25 件	0.66	0.0033
対策６ 適切な森林管理	森林経営管理計画に基づく業務の実施　　実績：541ha 再造林に対する支援　　実績：届け出 45 件、28.22ha 搬出間伐支援　　実績：3 件、52.81ha 林業への新規就農支援　　実績：8 人	―	―
対策７ その他脱炭素行動の促進	普及啓発講座の開催（４回）、普及啓発パンフレット作製 カーボンニュートラル推進マネージャーの採用 脱炭素行動事業者認定制度創設　　認定数：13 者	数値目標なし	数値目標なし
合計		**7.30**	**0.5356 万 t-CO2 （進捗率 7.3%）**